

NEWS RELEASE

2016年度 ヒットCM動向

CM総合研究所(東京都港区 代表・関根心太郎)は、2016年度(2015年11月度～2016年10月度)のCM好感度ナンバーワンのブランドを発表するとともに、CM好感度ランキング上位の顔ぶれをレポートいたします。

【auが2連覇、歴代最高スコアを更新】

2016年度にCMをオンエアした全7470銘柄のうち、CM好感度ナンバーワンは2年連続でKDDIの『au』となった。本年度は「三太郎」シリーズを中心に56作品を放送し、『au』が前年度に打ち立てた観測史上最高のCM好感度を更新した。「三太郎」シリーズには、桃太郎(松田翔太)、浦島太郎(桐谷健太)、金太郎(濱田岳)、かぐや姫(有村架純)、乙姫(菜々緒)、鬼(菅田将暉)のメインキャストのほか、花咲爺さん(笹野高史)、一寸法師(前野朋哉)など個性あふれるゲストが登場。視聴者を飽きさせることなく、23カ月連続1位の記録も更新中だ。

さらに、AIの楽曲をBGMにさまざまな童話や昔話をモチーフにした「みんながみんな英雄」篇や、寺田心が桃太郎の幼少期を演じ、3人の出会いと友情を情感豊かに描いた「三太郎の出会い」篇などの展開は、「三太郎」の物語の世界を開くトビラの役割をもつ。ストーリーの核となるこれらの作品は、おもしろさだけではなく、シリーズの奥行きを視聴者に感じさせている。

【シリーズCM全盛、心なごむストーリーで深まるブランドの世界観】

2位の『SoftBank』は、10年目を迎えた「白戸家」シリーズに新展開。子犬の“ギガ”と次男役の佐藤健が加わり、犬のお父さんとコミカルなやりとりを繰り返した。3位は『NTT DOCOMO』で、前年度の9位から順位を上げた。堤真一、綾野剛、高畑充希が新聞記者を演じる「得ダネを追い！」シリーズでは、綾野とハリセンボンの近藤春菜の結婚披露宴に、トレンディエンジェルの齋藤司がカメラマン役で出演したり、ドコモショップのカリスマ店員役にロバートの秋山竜次が出演した。4位の『ワイモバイル』は、桐谷美玲と“ふてニャン”が1980年代にタイムスリップ。ディスコで踊ったり、当時流行った“なめ猫”が登場するシリーズが好調だった。

5位へと大躍進を遂げたのは『Amazonプライム』。犬と赤ちゃんがセリフのない表情だけの演技で心なごむストーリーを紡いだ。この作品は年間を通じて大ヒットとなり、同銘柄初のTOP10入りに貢献した。6位は『ジョージア』。山田孝之がさまざまな職業人に扮するシリーズが好調。公園施設点検員やテレビ局のAD、電気設備技師などを熱演して高い評価を得た。7位は『タウンワーク』。松本人志があき竹城と共演した農家の夫婦や、外国人俳優の通訳、競りの仲買人などさまざまな役柄を演じながら「バイトするなら、タウンワーク。」のコピーを印象づけた。8位の『キリン一番搾り生ビール』は16年ぶりのTOP10に返り咲いた。嵐が47都道府県の各地で生産されたビールを飲みながら、和気あいあいと楽しむ作品などで商品の魅力を伝えた。9位は『カップヌードル』。ピートたけしが架空の大学「OBACA's UNIVERSITY」の学長に扮するシリーズが始まり、インパクトの強い展開が話題を集めた。10位の『ボス』は10年連続のTOP10入り。「宇宙人ジョーンズ」シリーズは、北島三郎、石川さゆり、永瀬正敏、窪田正孝など豪華なゲストと懐かしい楽曲のBGMで抒情的なドラマCMを展開した。

ランキング上位を見ると、シリーズCMの強さと安定感が際立ち、auの一寸法師、SoftBankのギガや佐藤健、NTT DOCOMOの齋藤司や秋山竜次、ボスの永瀬正敏や窪田正孝といった、ゲスト出演者の絶妙なキャスティングがシリーズCMに変化と勢いを与えた。また、auやAmazonプライム、ボスなど、「心なごむ」エモーショナルなストーリーと演出が、ブランドの世界観を深めて視聴者の共感を誘った。

2016年度 銘柄別CM好感度TOP10(全7470銘柄) ★=自己最高順位

総合順位 (前年順位)	企業名『銘柄名』	代表作品名
1(1)	KDDI株式会社『au』	春のトビラ・みんながみんな英雄
2(2)	ソフトバンク株式会社『SoftBank』	白戸家 ギガ物語 アヤ子犬拾う
3(9)	株式会社NTTドコモ『NTT DOCOMO』	得ダネを追い! : 齋藤さんゲーム
★4(11)	ソフトバンク株式会社『ワイモバイル』	スカート1/3
★5(2822)	アマゾンジャパン合同会社『Amazonプライム』	ライオン
6(7)	日本コカ・コーラ株式会社『ジョージア』	公園施設点検員
★7(42)	株式会社リクルートジョブズ『タウンワーク』	ビデオレター
8(12)	キリンビール株式会社『キリン一番搾り生ビール』	しあわせ一番町 47都道府県が一番搾り
9(8)	日清食品株式会社『カップヌードル』	OBACA's 大学テラ幸子
10(10)	サントリー食品インターナショナル株式会社『ボス』	おまわりさん

・2016年度のCM展開:
2028社/7470銘柄/16043作品
(東京キー5局)
・集計期間:2015年11月度～2016年10
月度(2015年10月20日～2016年10
月19日)
・関東一都六県在住の一般モニター男女
3000人の「月別CM好感度調査」の12
カ月分より集計

※データ使用の際は「CM総合研究所調べ」の明記をお願いします。